

協働パイロット事業（H28）企画提案書

団体名：清沢 reading-live スタッフ

1 事業の名称

地域発信「清沢月待ち朗読祭の里」

2 事業の概要（市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください）

清沢という中山間地で行う朗読祭は、貴重な自然資源と文化交流の場を全国に発信するものと位置づけられます。ここに竹材を活用した四阿を建築し、竹材の活用促進を促すものとします。

・内容

- 1 朗読会の開催・・・朗読や読み聞かせなど様式・ジャンルは自由とし、読み手・聞き手・出店者（農産物など）を募っての開催・・・（別紙チラシ参照＝朗読祭参加者募集チラシ）
- 2 朗読祭会場づくり・・・野外ステージの建設、四阿の建築

・目的

朗読の読み手、聞き手をすることで芸術としての朗読に親しむ。

日本全国の朗読関係者のネットワークづくりの拠点となり、静岡の知名度をアップさせる。

朗読祭の会場づくりに必要な四阿を、静岡の放任竹材を使って作る。

朗読祭を媒体として、中山間地へ人の流れをつくる。

・社会的課題と期待される効果

1 朗読は芸術ジャンルとして広がりを見せているが、全国規模での朗読祭はまだ開催されていない。

全国規模の朗読祭として発信することで、全国に先駆けた朗読村の位置づけとなり、静岡市の知名度を上げる。

朗読祭と位置づけることで、ジャンルを超えた朗読表現にふれ、朗読というジャンルの芸術性の底上げになる。

2 文字離れや、人とのコミュニケーションが薄れ、国語力の低下が言われている。

文字を媒体とする朗読というジャンルは理性的な世界でもあり、物事を深く理解することや考える力を促すものとなり、子どもたちの学力向上にもつながる。

芸術としての朗読に触れることにより、表現する楽しみを身近に感じ興味を持たせることができ、生活の中での表現力の向上につながり、コミュニケーション力の向上の一助になる。

3 静岡市の多くの面積を占める中山間地は僻地化し限界集落が増加している。

東京からも2時間ほどで来ることができるこの限界集落を、朗読祭を通じ活気ある魅力ある里として発信することができ、主として静岡市北部（オクシズ）の活性化にもつながる。

全国規模で放任竹林や山の荒廃が進んでいるが、ここに竹材の四阿を作ることで竹材活用を促し、放任竹林対策としての啓発活動となる。

3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

| 仕事の分担 | |
|--|---|
| 団体が担う仕事 | 行政にお願いしたいこと |
| <p>月待ち朗読祭に関するプロデュースの一切に責任を持つ。 出演者の募集・制作・集客・出店募集</p> <p>宣材の作製および配布 インターネットによる広報 聞き手参加者の受付 朗読祭当日のスタッフ業務諸々</p> <p>四阿づくり</p> <p>竹材により建設された四阿の視察 四阿の設計及び建築</p> <p>会場の工事及び設営</p> <p>事業に関する総括と次年度への方針</p> | <p>行政にお願いしたいこと</p> <p>月待ち朗読祭へのサポートを行う。</p> <p>行政としてできる広報で協力。できれば観光事業として位置付けていただきたい。 インターネットのリンクを貼っていただく。</p> <p>バス運行がない地域のため、できれば市内からの直通バスを運行して頂きたい。 (昼の部の送迎・夜の部の送迎) バス乗車に関する申し込みの受付などの実務。 (朗読祭への参加申し込みは行政は行わないで、団体が行う。)</p> <p>竹材の確保に関するサポート。 行政の情報や他団体とのコーディネート</p> <p>事業への関わりとして、現地に足を運び現地での活動に対する助言も頂きたい。</p> |

4 事業計画・実施スケジュール

2月第1回スタッフ会議

今年度の方針

3月第2回スタッフ会議

呼び掛け文・企画書・募集要項に関する確認

4月第3回スタッフ会議

呼び掛け文・スタッフ募集チラシの作製と配布

5月～6月 第4回スタッフ会議

賛同者・参加者（読み手・出店・ボランティアスタッフ）の募集

6月 第5回スタッフ会議

読み手参加者の締め切り

当日のプログラムの検討

朗読祭宣伝チラシの素案のまとめ

竹の四阿を視察

7月 第6回スタッフ会議

集客に向けてチラシ作製

竹の四阿の設計及び建築

8月 第7回スタッフ会議

集客・当日プログラムの確認及び決定、

役割分担

竹の四阿の建築

9月 第8回スタッフ会議 第9回スタッフ会議

集客・当日プログラムの作製

会場ステージ・客席等の建築

前夜祭とりハーサル

朗読祭開催当日（9月24日）

10月第 第10回スタッフ会議 1次総括

12月第 第11回スタッフ会議 2次総括（新蕎麦祭り）

2月 2017年第1回スタッフ会議 最終総括と次年度方針

5 実施体制及び主要スタッフの経歴

| | 担当業務 | 氏名 | 役職 | 経歴等 |
|--|---------------|-------|--------|---|
| | 全体統括 | 永野修司 | 団体代表 | 劇団わらび座に 30 年在籍 6 年間フリーで演出・講師活動 2011 年耕心塾「やんばい」設立以後塾長として、清沢お月見ライブ主宰 朗読家 朗読舞踊講師 演出家 整体師 |
| | 建築現場指導 事務局 | 三瓶壮志 | 監督（親方） | 建設会社勤務 2011 年から、お月見朗読ライブの 野外ステージ作りの現場監督 |
| | 広報 | 中達佳代子 | | ナレーション・司会・朗読家 元静岡市防災レポーター |
| | 会計 | 田黒恒子 | | 看護師 |
| | 書記 | 川口記志枝 | | 鍼灸師 |
| | 夜ステージ進行 | 成澤生汝 | | 職業相談員・司会・朗読家 耕心塾やんばい朗読講師 |
| | 昼ステージ進行 | 遠藤裕行 | | 電気工事士 |
| | 昼ステージ進行 | 田黒有二 | | 元団体職員・衛生管理責任者 |
| | 舞台スタッフ | | | |
| | 出店スタッフ | 杉山八千代 | | お茶インストラクター 元静岡市地域支援員 |
| | 現地・渉外スタッフ | 佐藤益男 | | 農業・板金業 |
| | スタッフ | 佐野公子 | | 朗読家・エトピリカ所属 |
| | スタッフ | 八木愛子 | | 朗読家 ボイストレーナー 滔々舎主宰 |
| | スタッフ | 山本定由 | | 作家 |
| | スタッフ | 小林厚子 | | 農家 |
| | | | | |

6 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など）

この清沢月待ち朗読祭は、平成23年から昨年までの5年間、「清沢お月見朗読ライブ」の名称で開催していました。長年、舞台俳優に就いていた清沢地区出身者の帰郷を機に、その友人たちの協力を得て一夜限りの野外特設ステージを造り、毎年9月の第4土曜日の夜に開催してきました。秋雨や台風の心配をしながらもロコミで毎年100人近い方のご来場をいただき、皆様から喜びの声を頂戴しています。

この朗読ライブを創り上げる過程で、演者スタッフはもとよりたくさんの方々のご縁が生まれました。仲間づくり、居場所づくり、生きがいくりの場として、また朗読のジャンルを超えて表現者のネットワークづくりと学びあいの場として定着しつつあります。

この5年間の朗読ライブを通して、山深い清沢で活動していくことの意義も見えてきました。緑豊かな美しい自然の中で連綿と続いてきた生活文化が、限界集落として近い将来消えてしまうことは、あまりにも‘もったいない’ことです。先人の知恵や思いが消えていく悲しみだけではなく、これからの人間にとって、この自然の中の生活がどれほど大事なことなのかは、失われてしまってから気づくのでは遅すぎるのです。このことを多くの人に感じていただく機会としても朗読祭は意義あるものと考えます。同時に、現代の課題とも言える人と人を結ぶコミュニケーションのあり方や日本語の美しさや情感を、大人も子どもの再確認し学び育ち合える場としても大きな役目を果たすものと考えます。

静岡市内はもとより、日本全国から初秋の清沢へ多くの人が集う、年に一度の朗読祭へ成長できることを願って、‘清沢月待ち朗読祭’を開催します。

※今年度開催要項、読み手・パフォーマー・出店者 募集を参照下さい。

協働パイロット事業 (H28) 見積書

団体名： 清沢 reading-live スタッフ

企画のタイトル： 地域発信「清沢月待ち朗読祭の里」

| 項目 | 金額 | 説明 |
|----------------|--------|-----------------------|
| 足場・施工・レンタル | 100000 | ●竹は無料でいただく |
| 木材費 | 25000 | ●機械はユンボなどレンタル |
| 金具 | 5000 | ●機械レンタルに燃料費も含む |
| 機械使用料 | 40000 | ●設計は一級建築士の指導を頂く |
| 作業工具(竹割・竹のこぎり) | 20000 | ●作業工具は、竹用ののこぎり竹を割る |
| トラックレンタル | 30000 | ための工具 など |
| 土地借り上げ | 30000 | ●研修会は四阿視察も含む |
| 現場講師料 | 40000 | ●視察の際に説明下さる方への謝金及び |
| 設計料 | 10000 | 移動費・入場料も研修費として含む |
| 会議費 | 30000 | ●工事の際の現場を仕切る監督及び機械 |
| 研修費 | 40000 | のオペレーターを指導者とし講師料を支払う |
| | | ●現場監督2名と代表は必ず研修会に参加する |
| 小計 A | 370000 | |
| 消費税 B=A×0.08 | 29600 | |
| 合計 A+B | 399600 | |

◎実費弁償契約の希望の有無

有

◎無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

| 収入見込み額 | 金額 | 主な用途 |
|-----------|--------|-----------------------------|
| 月待ち朗読祭り収入 | 150000 | 月待朗読祭経費 ※別紙 月待ち朗読祭 予算案参照 |